

広域通信エリアを確保するための沿岸漁業用海岸局に必要な技術的条件に関する調査検討会

- 被災した沿岸漁業用海岸局の本格復興に向け、海岸局の最適配置及び通信エリアの広域化を図り、航行安全情報、防災情報なども効率的に伝達できるようにするための技術的条件を検討(H25年7月検討会立ち上げ)。
- 平成26年3月14日(金)に最終会合を開催し、調査検討会報告書を取りまとめる。

最終会合のご案内

日時 平成26年3月14日(金) 15時から17時
場所 東北総合通信局12階会議室(仙台市青葉区本町3-2-23)
議事 調査検討会のとりまとめ(報告書案の確認)
その他 調査検討会は一般公開

調査検討会終了後、座長(東北大学大学院 陳教授)から東北総合通信局長(奥 英之)に対して報告書が手交されます。*

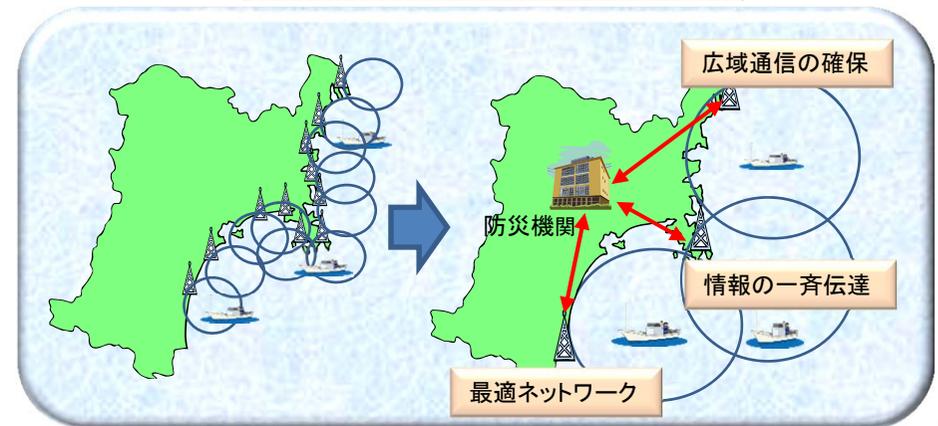
* 手交式に当たっては、検討会終了後、手交が行われる場所まで報道機関をご案内いたします。

報告書の概要

主な調査検討項目

- 地元漁業者のヒヤリング → 地元漁業者の意見集約
- 宮城県海岸局モデルの提案 → 3局配置モデルを提案
- 実証試験の概要及び結果 → 3局モデルでの実証試験
- ネットワーク化の提言 → 災害情報等の伝達ネットワーク回線の提案
- 技術的条件の提言 → 高出力化(5W)の提言等

宮城県漁業用海岸局復興モデル



宮城は11局を3局に集約するモデルを提言